

認知症施策の更なる推進を

質問者 下野 義子

2025年に認知症の高齢者数が約700万人（高齢者の5人に1人）に達するといわれている。認知症の人と家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現が求められる。そこで、専門家の十分な配置や様々な媒体を活用した認知症予防普及啓発事業、患者や家族にやさしい地域づくり、グループホームの整備等更なる施策を推進すべきである。また、国が目指す「初期集中支援チーム」の設置に向け、どう取り組むのか伺う。